

## 学校経営計画

### (1) 教育目標

隣接する天竜病院及び関係機関と連携し、「自ら病気に向き合い、自信をもって社会参加できる人」を育てる。

〈めざす児童生徒像〉

- ア 自分の病状を理解し、自己調整できる人。
- イ 自他の良さに気付き、自らに自信がもてる人。
- ウ 周囲の人や物と豊かに関わり、協調して生活できる人。
- エ 自ら学習に取り組む人。
- オ 自らより豊かに生きようとする人。

### (2) 目標具現化の柱

- ア 人を大切にする、安心で安全な教職員集団と学校づくりの推進。
- イ 心理的な安定を基盤とし、未学習に対応する具体的な教育方法と内容の追究。
- ウ 個別のニーズに対応し、コミュニケーションの力を高める教育方法と内容の追究。
- エ 地域で生活する姿と個別の教育支援計画をベースにした、保護者、学校、天竜病院、天竜厚生会、原籍校、関係機関との連携と指導の推進。
- オ 地域から頼りにされる学校を目指したセンター的機能の推進。
- カ 目的を明確にし、自らの業務に責任をもって実行する教職員の育成。

### (3) 本年度の取組

		取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安心安全	ア	児童生徒理解の上に立った、人を大切にする生徒指導、安全管理。	確かな児童生徒理解につながる病弱教育研修と共通理解の視点に立った事例検討研修を計画的に実施する。	各研修会を児童生徒理解と授業作りに役立てたと答える教員 100%	自立活動課 各学部
			救急対応訓練を実施するとともに、在籍児童生徒の配慮事項を確認し、共有する。 ヒヤリハット対応事案について適宜報告し、再発の防止をする。	児童生徒の配慮事項に対する手立てを教員間で共有し実践することで重大事故0 ヒヤリハットの情報共有により再発防止を意識できたと答える教員 100%	保健課 事務部
			外部講師を活用し、学部毎にテーマを絞った情報モラル講座を2回実施する。	情報モラルに対する理解が深まったと答える児童生徒 100%	生徒指導課
		防災対策マニュアル(避難、引き渡し、再開計画)の確立。	南海トラフ地震情報、Jアラートの発令時等に対応するマニュアルを作成とそれに対応した避難訓練の実施。	実際に即した訓練ができた教員 100% 学校再開計画の検討と確立。	生徒指導課 防災対策委員会

指導 充実	イ	短期在籍児童生徒及び未学習児童生徒への学習指導と生徒指導の充実。	児童生徒の未学習や学びの特性を適切に把握し、それに対応した授業づくりの研修をすすめる。 個に応じた支援を考えて、一人1授業研究を行う。	未学習に対応した単元計画の作成と実践ができた教員100% 学習に対する意欲や興味が高まったと答える児童生徒100%	研修課 各学部
			I C T希望研修の実施と「I C Tを活用した授業場面」の実践報告書の作成。 個々の学びの特性に応じたI C T機器の活用を推進する。	I C T機器の活用により学習効果が高まったと答える教員95%以上。 I C T機器の活用により児童生徒の授業への参加率の増加。	情報課
ウ		豊かな表現力を引き出す重度重複障害児童生徒への教育の充実。	I C F関連図や自立活動実態表を活用し、事例検討会を実施する。	事例検討会から得た指導目標や内容を実践できた教員100%	自立活動課 訪問教育担当
			児童生徒一人ひとりに合った関わり方や表出を引き出す指導法、教材教具の工夫をする。	指導法や教材教具の工夫により児童生徒の表出を引き出すことができた教員100%	
地域 連携	エ	<b>個別の教育支援計画を根拠とした連携体制の確立と家庭への支援体制の充実。</b>	本校在籍前後のつながりを見通した関係機関の役割を明確にし、個別の教育支援計画の支援内容を共有する。	転入学前の各機関における支援内容を把握し、在籍中、転出後の役割分担を明記した個別の教育支援計画を作成した教員100%	教育支援課 進路指導課 各部
			講師を招聘して、全職員の進路指導研修を夏休みに実施する。	進路や関係機関等に関する理解や知識が向上したと答える教員100%	
	オ		みゅうの丘協議会と連携した、特色と魅力のある学校づくり。	みゅうの丘（天竜厚生会と天竜病院）の資源を計画的に活用し、児童生徒の経験拡大を図る。	（高）厚生会、病院での学習、実習年間30回以上。 （小中）みゅうの丘の資源を活用した学習の実施5回以上
みゅうの丘連携を生かした地域への情報発信の取り組みを行い、みゅうの丘協議会の活性化を図る。				「みゅうの丘協議会」の実践をまとめ外部に発信する。	運営委員会
		高等部入学のあり方の検討と確立。	全職員を対象として、高等部についての意見交換をする。	高等部のあり方についての検討を進め、試案を作成する。	進路指導課 教育支援課
業務 改善	カ	<b>一人ひとりが責任をもった業務の遂行とセルフマネジメント力の向上</b>	会議の提案議題と提出期限を掲示し、全職員に周知する。 毎週水曜日をノー会議デーとする。	期限を意識し計画的に業務ができた教員100% 毎週水曜日18:00退庁の実施100%	教務課 各分掌 各部
			各学部の行事や分掌での業務の目的を明確にする。 目的に沿って業務を見直し改善する。	目的を見直して行事の実施や業務の遂行ができたと答える教員100%	